

お知らせ

私たちの大切な税金の使いみち 平成22年度予算

一般会計 **197億9,000万円**

特別会計 **133億7,254万円**

公営企業会計 **6億6,923万円**

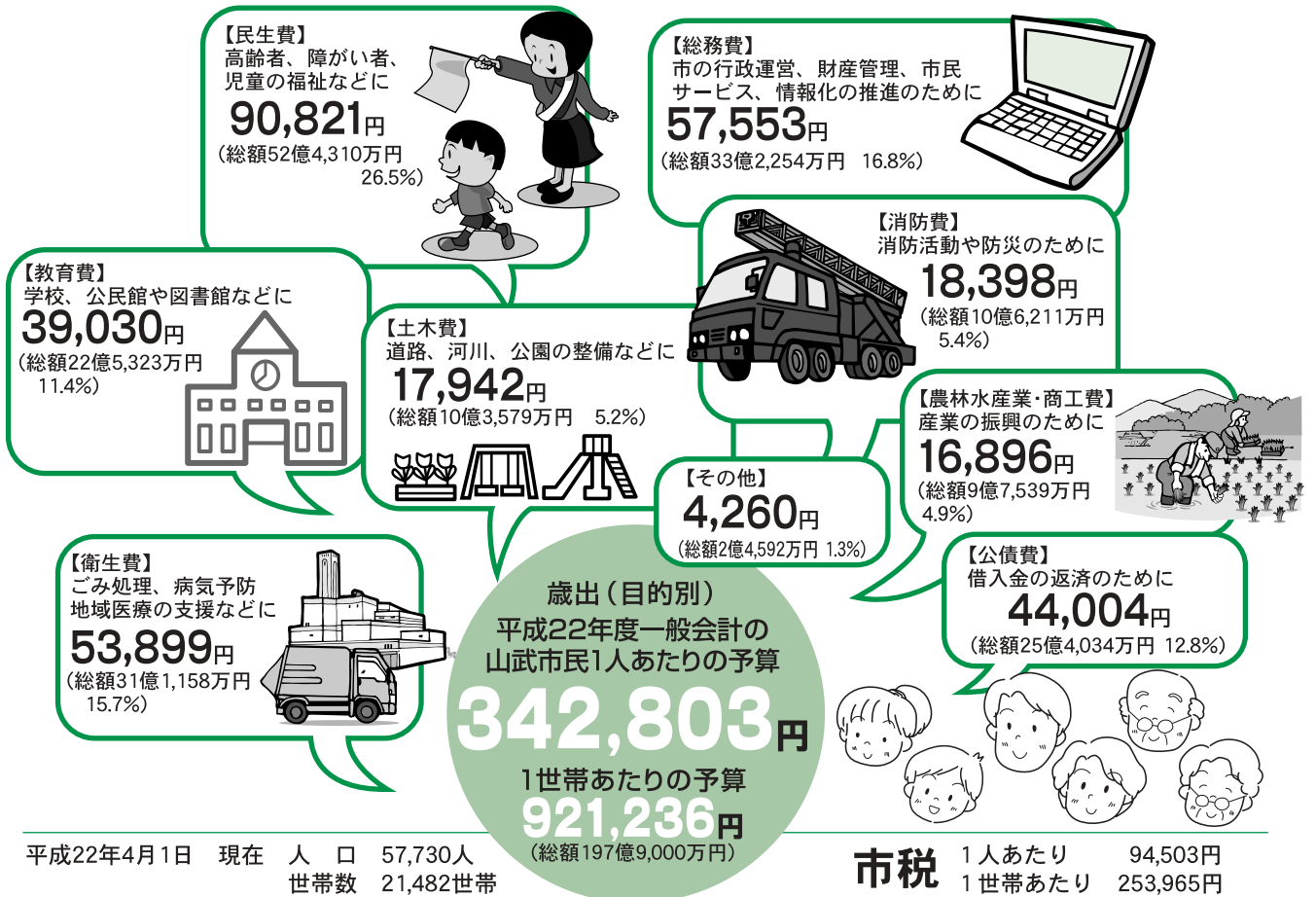
全会計合計 **338億3,177万円**

平成22年度の当初予算が3月定例議会において可決されました。予算とは、会計年度（4月1日～翌年3月31日）ごとに皆さんから納めていただく税収入などを「歳入」として見積もり、それに応じて、どのような目的でどれだけの経費を使うかを「歳出」としてあらかじめ定めるものです。このうち一般会計は、市の中心となるもので、市の基本的な予算が計上されています。

平成21年度の一般会計当初予算は、197億9,000万円で、前年度に比べて4億5,000万円（2.2%）の減額となっています。今回はその概要をお知らせします。

市民1人あたりの歳出(目的別)予算額

*ここでは、市の予算がどのように使われているかをわかりやすくするために、市民1人あたりに置き換えてみました。



平成22年4月1日 現在 人口 57,730人
世帯数 21,482世帯

歳出の動向

歳出でもっとも大きな割合を占めているのは民生費で、全体の26.5%を占め、52億4,310万円となっています。民生費は高齢者、障がい者、児童の福祉のために使われる経費や、国民健康保険や介護保険、後期高齢者医療といった公的保険を支えるための費用が含まれています。さらに、平成22年度については、子ども手当支給のための経費などが追加されたため、前年度に比べて8億1,695万円（18.5%）の大幅増額となりました。

続いて総務費が33億2,254万円で全体の16.8%を占めています。総務費は前年度に行った地域振興基金積立事業の終了や、（仮称）さんぶの森交流センターの事業費が減額されたことなどにより、前年度に比べて10億457万円（23.2%）の大幅減額となりました。

また、衛生費は全体の15.7%を占め、総額で31億1,158万円となりました。地方独立行政法人さんぶ医療センター創設のための経費を計上したこと等により、前年度に比べ18.7%の大幅増額となりました。

なお、公債費は、総額で25億4,034万円で全体の12.8%を占めています。繰上償還を行うなどの対策により前年度に比べ3.5%減少しましたが、国の政策により市も多額の臨時財政対策債を借入れていることなどから今後も注意が必要な状況です。

一般会計歳出の性質別内訳

*予算を「性質」という別の観点からみたものです。

